



Title	平田恵津子教授の略歴・研究業績（抄）
Author(s)	
Citation	ブラジル研究. 2026, 20, p. 3-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/106117
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平田恵津子教授 略歴

1983 年 3 月	大阪外国語大学外国語学部ポルトガル・ブラジル語卒業
1986 年 8 月	リオデジャネイロ・カトリック大学 (PUC-Rio) 文学部留学 (～1987 年 7 月)
1990 年 4 月	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 大学院修士 課程入学
1992 年 12 月	カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院修士課程修了 (文学修士 〈Master of Arts in Portuguese〉)
1993 年 1 月	カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院博士課程入学
1994 年 4 月	大阪外国語大学外国語学部非常勤講師 (～1997 年 3 月)
1995 年 6 月	カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院博士課程 Candidate in Philosophy に認定 (「単位取得満期退学」に相当)
1996 年 4 月	龍谷大学非常勤講師 (～1997 年 3 月)
1996 年 4 月	天理大学非常勤講師 (～2012 年 3 月)
1997 年 4 月	大阪外国語大学外国語学部講師 (～1998 年 12 月)
1999 年 1 月	大阪外国語大学外国語学部助教授 (～2007 年 9 月)
2007 年 10 月	大阪大学世界言語研究センター准教授 (～2012 年 3 月)
2012 年 4 月	大阪大学言語文化研究科准教授 (～2013 年 3 月)
2013 年 4 月	大阪大学言語文化研究科教授 (～2022 年 3 月)
2022 年 4 月	大阪大学人文学研究科教授
2025 年 3 月	退職

平田恵津子教授 研究業績（抄）

【著書】

- 『ポルトガルの歴史に残った女性像とブラジル文学に現れた女性像』、共著
（有水博）、大阪外国語大学学術双書 16、大阪外国語大学学術出版委員会、pp.83-166、1997 年
- 『ポルトガル語』（世界の言語シリーズ 11）、共著（鳥居玲奈、ロジェリオ・アキチ・デゼン）、大阪大学出版会、[全 30 課の読み物・「語句」、コラム no.4,6,7,10~13、付録 1「この本に出てくる語句」、別冊「全 30 課の読み物翻訳」担当]、2016 年

【論文】

- “Lampião na literatura popular”, *Anais XXVI* (日本ポルトガル・ブラジル学会年報)
pp.27-37、1992 年
- “A resistência silenciosa em *A Estranha Nação de Rafael Mendes*”, *Anais XXVIII*
（日本ポルトガル・ブラジル学会年報）、pp.42-51、1995 年
- 「エスニック・ジョークについての研究：その性質と機能」、『大阪外国語大学論集』第 18 号、大阪外国語大学、pp.251-267、1998 年
- 「ブラジル文学と移民—オルガ・フテンマの場合」、『世界文学 5—大阪外国語大学における世界文学の教育と研究』、大阪外国語大学世界文学研究会、pp.123-140、2000 年
- 「マリオ・デ・アンドラーデ — 楽観と悲観のあいだで」、『ブラジル研究』創刊号、大阪外国語大学ブラジル研究会、pp.29-54、2006 年
- “O mundo poético atrás da câmera”, *Encruzilhadas/Crossroads*, University of California, Los Angeles, vol.7, pp.42-45, 2006

- 「ブラジルモダニズム文学 — サンパウロと移民」、『ブラジル研究』第 2 号、
大阪大学 世界言語研究センター ブラジル研究会、pp.33-53、2007 年
- “Entre o som do violão e sanshin: expressões artísticas dos nikkeis no Brasil”、『ブラ
ジル研究』第 3 号、大阪大学世界言語研究センターブラジル研究会、
pp.31-37、2008 年
- “Family, Cinema and ‘Okinawa’: Olga Futemma”, In: *Conflict Studies in the
Humanities/ Special Issue: Migration and Identities: Conflict and the New
Horizon*, Global COE Program, Osaka University, pp.135-149, 2011
- “A magia e o desencanto no universo muriliano”、『ブラジル研究』第 8 号、大阪大
学世界言語研究センターブラジル研究会、pp.19-31、2012 年
- 「文学に見るブラジルの姿——ロマン主義の場合 (1)」、『ブラジル研究』第 10
号、大阪大学外国語学部ブラジル研究会、pp.61-72、2014 年
- 「ブラジル文学における日本移民の表象」、『ブラジル研究』第 13 号、大阪大
学外国語学部ブラジル研究会、pp.33-41、2017 年
- 「文学に見るブラジルの姿—『マルチン・セレレ』の場合 (2)」、『ブラジル研
究』第 15 号、大阪大学外国語学部ブラジル研究会、pp.17-28、2019 年
- 「ブラジルのことばと文化の形成—先住民の役割」、『外国語教育のフロンティ
ア (5)』、大阪大学大学院言語文化研究科 [編]、共著 (鳥居玲奈、ロ
ジェリオ・アキチ・デゼン)、pp.145-157、2022 年

【訳書】

- 『ブラジル文学傑作短篇集』《ブラジル現代文学コレクション》岐部雅之編、
共訳、水声社、pp.78-96、pp.155-163、2023 年

【作品翻訳・解説】

- 「ムリロ・ルビアン<バルバラ> —作家と作品紹介—」、『ブラジル研究』第 3
号、大阪大学世界言語研究センター ブラジル研究会、pp.71-80、2008
年

- 「リマ・バレット＜ジャワ語がわかる男＞」、『ブラジル研究』第6号、大阪大学世界言語研究センター ブラジル研究会、pp.85-97、2010年
- 「〔作品紹介〕ルシア・ヒラツカ『サユリの本』（前篇）」、『ブラジル研究』第8号、大阪大学世界言語研究センターブラジル研究会、pp. 61-89、2012年
- 「〔作品紹介〕ルシア・ヒラツカ『サユリの本』（後篇）」、『ブラジル研究』第9号、大阪大学外国語学部ブラジル研究会、pp. 59-97、2013年
- 「ブラジルのユダヤ人モアシル・スクリアル作＜偽メシアのバラード＞と＜老マルクス＞(試訳)」、『ブラジル研究』第11号、大阪大学外国語学部ブラジル研究会、pp. 79-96、2015年
- 「＜子ウサギのテレコ＞ムリロ・ルビアン」、『ブラジル研究』第12号、大阪大学外国語学部ブラジル研究会、pp.73-82、2016年
- 「ムリロ・ルビアン＜行列＞」、『ブラジル研究』第14号、大阪大学外国語学部ブラジル研究会、pp.59-74、2018年
- 「ムリロ・ルビアン＜ドラゴン＞」、『ブラジル研究』第16号、大阪大学外国語学部ブラジル研究会、pp.31-36、2020年
- 「マシャード・デ・アシス “Pai contra mãe”―奴隷制と文学」、『ブラジル研究』第17号、大阪大学外国語学部ブラジル研究会、pp.21-37、2021年